

### 第3章 公害の現況と対策 II 水質

#### (1) 環境基準

##### ア 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値
カドミウム	0.003mg/L以下
全シアン	検出されないこと。
鉛	0.01mg/L以下
六価クロム	0.05mg/L以下
砒素	0.01mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	検出されないこと。
ジクロロメタン	0.02mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下
トリス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下

項目	基準値
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下
チウラム	0.006mg/L以下
シマジン	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	0.02mg/L以下
ベンゼン	0.01mg/L以下
セレン	0.01mg/L以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下
ふっ素	0.8mg/L以下
ほう素	1mg/L以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下

#### 備考

- (i) 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
- (ii) 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。

##### イ 生活環境の保全に関する環境基準<河川> (湖沼を除く)

###### (ア)

類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
A A	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	1mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	50MPN/100mL以下
A	水道2級 水産1級水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN/100mL以下
B	水道3級 水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L以上	5,000MPN/100mL以下
C	水産3級 工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上	—
D	工業用水2級 農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0以上8.5以下	8mg/L以下	100mg/L以下	2mg/L以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上8.5以下	10mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2mg/L以上	—

備考

- (i) 水素イオン濃度 (pH) …溶液の酸性、アルカリ性を示す尺度。7が中性で、0に近づくほど酸性が強く、14に近づくほどアルカリ性が強い。  
 生物化学的酸素要求量 (BOD) …水の汚れを示す指標。高いほど汚れが大きい。  
 浮遊物質 (SS) …水中で浮遊している固形物質。高いほど汚れが大きい。  
 溶存酸素量 (DO) …水中に溶け込んでいる酸素の量。一般に汚れが大きいと値が小さくなる。
- (ii) 基準値は、日間平均値とする (湖沼、海域もこれに準ずる)。
- (iii) 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする (湖沼もこれに準ずる)。

用語の説明

- (i) 自然環境保全…自然探勝等の環境保全
- (ii) 水道1級…ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの  
 水道2級…沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの  
 水道3級…前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- (iii) 水産1級…ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用  
 水産2級…サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物及び水産3級の水産生物用  
 水産3級…コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
- (iv) 工業用水1級…沈殿等による通常の浄水操作を行うもの  
 工業用水2級…薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの  
 工業用水3級…特殊の浄水操作を行うもの
- (v) 環境保全…国民の日常生活 (沿岸の遊歩等を含む。) において不快感を生じない限度

(イ)

類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物 A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.001mg/L以下	0.03mg/L以下
生物特 A	生物 A の水域のうち、生物 A の欄に掲げる水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.0006mg/L以下	0.02mg/L以下
生物 B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L以下	0.05mg/L以下
生物特 B	生物 A 又は生物 B の水域のうち、生物 B の欄に掲げる水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L以下	0.04mg/L以下

平成15年11月5日付け環境省告示第123号により追加

備考

- (i) 基準値は、年間平均値とする (湖沼、海域もこれに準ずる)。

(ウ)

環境基準	
滑川・神戸川 (B 類型)	3mg/L 以下 (生物化学的酸素要求量 (BOD) 75% 水質値)
境川水域 (D 類型)	8mg/L 以下 (生物化学的酸素要求量 (BOD) 75% 水質値)

平成30年6月29日付け神奈川県告示第328号により滑川はB類型 (直ちに達成)、神戸川はB類型 (5年以内に可及的速やかに達成)、境川水域 (柏尾川合流点より上流の区域に限り、柏尾川は除く。直ちに達成) はD類型となった。

(工)

水域	類型	達成期間
滑川（全域）	生物B	イ：直ちに達成
神戸川（全域）	生物B	イ：直ちに達成
平成30年6月29日付け神奈川県告示第329号による。		

ウ 生活環境の保全に関する環境基準<海域>

(ア)

類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)
A	水産1級 水浴 自然環境保全及びB以下の欄に掲げるもの	7.8以上8.3以下	2mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN/100ml以下	検出されないこと。
B	水産2級 工業用水及びCの欄に掲げるもの	7.8以上8.3以下	3mg/L以下	5mg/L以上	—	検出されないこと。
C	環境保全	7.0以上8.3以下	8mg/L以下	2mg/L以上	—	—

用語の説明

- (i) 自然環境保全…自然探勝等の環境保全
- (ii) 水産1級…マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用  
水産2級…ボラ、ノリ等の水産生物用
- (iii) 環境保全…国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(イ)

類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全磷
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.2mg/L以下	0.02mg/L以下
II	水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.3mg/L以下	0.03mg/L以下
III	水産2種及びIVの欄に掲げるもの (水産3種を除く。)	0.6mg/L以下	0.05mg/L以下
IV	水産3種 工業用水 生物生息環境保全	1mg/L以下	0.09mg/L以下

※基準値は年間平均値とする。

※水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。

用語の説明

- (i) 自然環境保全…自然探勝等の環境保全
- (ii) 水産1種…底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される。  
水産2種…一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される。  
水産3種…汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される。
- (iii) 生物生息環境保全…年間を通して底生生物が生息できる限度。

(ウ)

類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全 亜 鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物A	水生生物の生息する水域	0.02mg/L以下	0.001mg/L以下	0.01mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.01mg/L以下	0.0007mg/L以下	0.006mg/L以下

平成15年11月5日付け環境省告示第123号により追加

備考

- (i) 基準値は、日間平均値とする。

(エ)

環境基準	
由比ヶ浜沖・七里ヶ浜沖（全層）（A類型）	2mg/L以下（化学的酸素要求量(COD) 75%水質値）

(2) 河川水質調査

河川の水質の状況を把握するため、市内の主要な河川について、平成30年度に4回の水質調査を実施しました。なお、水質の改善がみられた豆腐川、稲瀬川、極楽寺川、音無川、行合川は13年度から対象外としています。また、県管理で県による水質測定を実施している滑川、神戸川についても16年度から対象外とし、県の測定値を記載しています。

そのほか、毎月1回河川パトロールを実施し、河川水質の監視を行っています。

ア 各物質経年変化

(7) 生物化学的酸素要求量（BOD）75%水質値経年変化（単位：mg/L）

河川名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	環境基準値
滑川	1.0	0.7	1.0	1.1	1.0	3以下
神戸川	0.9	1.0	1.1	0.9	1.0	3以下
大塚川	1.7	1.4	1.9	1.0	1.3	8以下
新川	1.0	1.3	1.2	1.1	1.5	8以下
梶原川	0.7	0.7	1.2	0.7	0.9	8以下
町屋川	0.7	0.5	0.9	0.6	0.9	8以下
山崎川	3.2	2.0	3.3	2.4	2.0	8以下
小袋谷川	1.6	1.6	1.4	1.9	1.6	8以下
砂押川	5.1	5.1	2.8	2.2	2.5	8以下
玉縄雨水幹線	1.6	1.2	1.4	0.9	1.0	8以下

(イ) 浮遊物質（SS）年平均値経年変化（単位：mg/L）

河川名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	環境基準値
滑川	5	3	2	2	3	25以下
神戸川	2	4	2	1	3	25以下
大塚川	4	4	3	3	3	100以下
新川	4	8	3	7	13	100以下
梶原川	3	6	4	4	4	100以下
町屋川	5	2	4	3	6	100以下
山崎川	4	3	7	12	5	100以下
小袋谷川	4	2	2	5	4	100以下
砂押川	13	10	7	9	5	100以下
玉縄雨水幹線	3	1	2	4	1	100以下

(ウ) 溶存酸素量（DO）年平均値経年変化（単位：mg/L）

河川名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	環境基準値
滑川	9.2	9.0	9.2	9.3	9.1	5以上
神戸川	10.1	9.2	10.5	10.5	10.3	5以上
大塚川	8.0	7.5	7.6	7.8	7.6	2以上
新川	11.2	11.3	11.1	11.0	11.7	2以上
梶原川	10.8	9.1	9.3	8.9	9.2	2以上
町屋川	12.9	12.7	10.0	10.0	10.2	2以上
山崎川	7.8	7.5	7.9	7.9	7.7	2以上
小袋谷川	9.3	8.7	9.3	8.9	9.0	2以上
砂押川	9.4	9.2	9.9	9.5	9.2	2以上
玉縄雨水幹線	8.4	8.2	8.6	8.5	9.1	2以上

(イ) 全窒素年平均値経年変化 (単位 : mg/L)

河川名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	環境基準値
滑川	1.0	1.3	1.5	1.4	1.3	—
神戸川	1.2	1.4	1.5	1.5	1.3	—
大塚川	2.1	1.9	2.4	2.1	2.1	—
新川	1.2	1.0	1.2	1.2	1.4	—
梶原川	0.79	0.94	0.95	1.1	1.1	—
町屋川	1.2	0.96	1.2	1.3	1.3	—
山崎川	9.0	8.4	9.2	7.4	7.1	—
小袋谷川	1.6	1.3	1.3	1.7	1.3	—
砂押川	1.6	1.4	1.2	1.4	1.7	—
玉縄雨水幹線	1.5	1.3	1.3	1.5	1.7	—

(オ) 陰イオン界面活性剤年平均値経年変化 (単位 : mg/L)

河川名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	環境基準値
滑川	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—
神戸川	0.04	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—
大塚川	0.03	0.05	0.07	0.03	0.04	—
新川	<0.03	0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—
梶原川	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.03	—
町屋川	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—
山崎川	<0.03	<0.03	0.03	<0.03	0.03	—
小袋谷川	0.09	<0.03	0.04	0.03	0.04	—
砂押川	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	—
玉縄雨水幹線	0.12	0.04	0.04	0.04	0.03	—

(カ) 全磷年平均値経年変化 (単位 : mg/L)

河川名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	環境基準値
滑川	0.25	0.26	0.25	0.29	0.30	—
神戸川	0.13	0.14	0.14	0.13	0.13	—
大塚川	0.28	0.24	0.29	0.21	0.19	—
新川	0.15	0.14	0.14	0.15	0.18	—
梶原川	0.14	0.16	0.19	0.17	0.18	—
町屋川	0.13	0.13	0.15	0.14	0.34	—
山崎川	2.3	2.4	2.7	2.4	2.6	—
小袋谷川	0.22	0.25	0.24	0.24	0.23	—
砂押川	0.18	0.18	0.17	0.16	0.14	—
玉縄雨水幹線	0.38	0.36	0.33	0.37	0.42	—

平成30年度河川水質調査結果表

大塚川

(調査地点：村山橋)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	H30.5.16	H30.7.18	H30.10.17	H31.1.16	-		
採水時間	13:45	13:50	13:35	13:40	-		
気温(°C)	27.1	33.0	26.5	12.2	24.7		観測項目
水温(°C)	20.6	26.4	20.1	10.1	19.3		
外観	-	-	-	-	-		
透視度(cm)	30+	30+	30+	30+	30+		
臭気	-	-	-	-	-		
硝酸性窒素(mg/L)	1.6	1.1	1.4	1.6	1.4	○	
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
水素イオン濃度(pH)	8.0	8.2	7.9	7.9	8.0	○	生活環境項目
生物学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	1.1	0.8	1.3	1.3	1.1(1.3)	○	
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	3.6	4.2	4.0	4.1	4.0		
浮遊物質(SS)(mg/L)	3	3	2	4	3	○	
溶存酸素量(DO)(mg/L)	7.6	6.1	7.3	9.2	7.6	○	
大腸菌群数(MPN/100mL)	70000	22000	79000	33000	51000		
全窒素(mg/L)	2.1	1.5	1.8	2.8	2.1		
全リン(mg/L)	0.17	0.16	0.21	0.22	0.19		
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		
アンモニア性窒素(mg/L)	0.14	0.09	0.11	0.07	0.10		
陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03	<0.03	0.04	0.04	0.04		その他の項目
磷酸態リン(mg/L)	0.12	0.18	0.15	0.16	0.15		
塩化物イオン(mg/L)	22	22	24	19	22		
電気伝導率(mS/m)	44	45	44	44	44		

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値未満は定量下限値として算出した。

平成30年度河川水質調査結果表

新川		(調査地点：梶原橋)				環境基準：境川流域D類型	
項目		第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否
採水月日		H30.5.16	H30.7.18	H30.10.17	H31.1.16	-	
採水時間		13:30	13:20	13:20	13:20	-	
気温(°C)		27.9	35.0	26.6	11.9	25.4	
水温(°C)		24.3	32.7	20.7	9.6	21.8	
外観		-	-	-	-	-	
透視度(cm)		30+	30+	30+	30+	30+	
臭気		-	-	-	-	-	
硝酸性窒素(mg/L)		0.80	0.32	0.90	0.85	0.72	○
亜硝酸性窒素(mg/L)		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
水素イオン濃度(pH)		8.4	9.1	8.1	8.4	8.5	○
生物化学的酸素要求量(BOD)(mg/L)		0.9	1.8	0.9	1.5	1.3(1.5)	○
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)		3.8	7.9	4.1	4.9	5.2	
浮遊物質(SS)(mg/L)		5	27	4	17	13	○
溶存酸素量(DO)(mg/L)		10.1	14.0	9.5	13.3	11.7	○
大腸菌群数(MPN/100mL)		2200	3300	13000	1700	5100	
全窒素(mg/L)		1.6	1.1	1.2	1.6	1.4	
全リン(mg/L)		0.14	0.23	0.16	0.17	0.18	
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
アンモニア性窒素(mg/L)		0.06	<0.04	0.05	<0.04	0.05	
陰イオン界面活性剤(mg/L)		<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	
磷酸態リン(mg/L)		0.091	0.10	0.12	0.073	0.096	
塩化物イオン(mg/L)		19	18	20	17	19	
電気伝導率(mS/m)		38	36	38	39	38	

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値未満は定量下限値として算出した。



平成30年度河川水質調査結果表

梶原川

(調査地点：中外製薬脇)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	H30.5.16	H30.7.18	H30.10.17	H31.1.16	-		
採水時間	11:20	11:22	11:10	11:20	-		
気温(°C)	27.3	33.8	23.7	11.9	24.2		観測項目
水温(°C)	23.4	30.2	20.5	8.8	20.7		
外観	-	-	-	-	-		
透視度(cm)	30+	30+	30+	30+	30+		
臭気	-	-	-	-	-		
硝酸性窒素(mg/L)	0.67	0.44	0.68	0.68	0.62	○	
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
水素イオン濃度(pH)	7.7	7.9	7.7	7.8	7.8	○	生活環境項目
生物学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	1.0	0.6	0.9	0.9	0.9(0.9)	○	
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	3.8	5.2	4.1	3.4	4.1		
浮遊物質(SS)(mg/L)	3	7	4	3	4	○	
溶存酸素量(DO)(mg/L)	9.5	9.0	7.4	10.7	9.2	○	
大腸菌群数(MPN/100mL)	130000	11000	33000	4900	45000		
全窒素(mg/L)	1.6	0.81	1.0	1.1	1.1		
全リン(mg/L)	0.18	0.22	0.18	0.14	0.18		
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		
アンモニア性窒素(mg/L)	0.10	<0.04	0.04	<0.04	0.06		
陰イオン界面活性剤(mg/L)	0.04	<0.03	<0.03	<0.03	0.03		その他の項目
磷酸態リン(mg/L)	0.067	0.098	0.079	0.057	0.075		
塩化物イオン(mg/L)	22	19	22	18	20		
電気伝導率(mS/m)	48	47	48	50	48		

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値未満は定量下限値として算出した。

平成30年度河川水質調査結果表

町屋川

(調査地点：ダイヤハイツ裏)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	H30.5.16	欠測	H30.10.17	H31.1.16	-		
採水時間	10:55		10:44	10:55	-		
気温(°C)	27.8		22.2	10.6	20.2		観測項目
水温(°C)	23.0		19.8	9.9	17.6		
外観	-		-	-	-		
透視度(cm)	30+		30+	30+	30+		
臭気	-		-	-	-		
硝酸性窒素(mg/L)	1.2		1.0	0.29	0.83	○	
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05		<0.05	<0.05	<0.05		
水素イオン濃度(pH)	8.0		8.3	8.3	8.2	○	生活環境項目
生物学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	0.6		1.2	0.8	0.9	○	
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	4.2		5.1	4.2	4.5		
浮遊物質(SS)(mg/L)	7		8	3	6	○	
溶存酸素量(DO)(mg/L)	10.8		9.5	10.4	10.2	○	
大腸菌群数(MPN/100mL)	3300		23000	3300	9900		
全窒素(mg/L)	1.7		1.6	0.52	1.3		
全リン(mg/L)	0.14		0.39	0.49	0.34		
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	<0.5		<0.5	<0.5	<0.5		
アンモニア性窒素(mg/L)	<0.04		0.04	<0.04	0.04		
陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03		<0.03	<0.03	<0.03		その他の項目
磷酸態リン(mg/L)	0.096		0.34	0.44	0.29		
塩化物イオン(mg/L)	35		64	100	66		
電気伝導率(mS/m)	47		57	70	58		

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値未満は定量下限値として算出した。

平成30年度河川水質調査結果表

山崎川

(調査地点：菱電湘南エレクトロニクス(株)裏)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	H30.5.16	H30.7.18	H30.10.17	H31.1.16	-		
採水時間	10:30	10:42	10:20	10:30	-		
気温(°C)	23.5	32.2	21.5	10.6	22.0		観測項目
水温(°C)	23.3	29.9	24.9	17.3	23.9		
外観	-	-	-	-	-		
透視度(cm)	30+	30+	30+	30+	30+		
臭気	-	-	-	-	-		
硝酸性窒素(mg/L)	4.0	4.7	6.1	7.4	5.6	○	
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
水素イオン濃度(pH)	7.2	7.0	7.1	7.0	7.1	○	生活環境項目
生物学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	2.0	1.6	1.8	2.1	1.9(2.0)	○	
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	8.5	9.9	7.9	8.9	8.8		
浮遊物質(SS)(mg/L)	7	7	4	3	5	○	
溶存酸素量(DO)(mg/L)	8.2	7.0	7.5	8.2	7.7	○	
大腸菌群数(MPN/100mL)	130	790	27	70	250		
全窒素(mg/L)	5.5	5.9	7.1	10	7.1		
全リン(mg/L)	1.9	3.0	2.8	2.8	2.6		
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		
アンモニア性窒素(mg/L)	0.14	0.11	0.08	<0.04	0.09		
陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03	0.03	<0.03	<0.03	0.03		その他の項目
磷酸態リン(mg/L)	1.9	2.8	2.5	2.8	2.5		
塩化物イオン(mg/L)	37	45	45	40	42		
電気伝導率(mS/m)	37	40	38	42	39		

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値未満は定量下限値として算出した。

平成30年度河川水質調査結果表

小袋谷川

(調査地点：大船橋)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	H30.5.16	H30.7.18	H30.10.17	H31.1.16	-		
採水時間	9:40	9:47	9:25	9:31	-		
気温(°C)	26.0	35.4	21.8	9.8	23.3		観測項目
水温(°C)	-	27.9	19.6	8.9	18.8		
外観	-	-	-	-	-		
透視度(cm)	30+	30+	30+	30+	30+		
臭気	-	-	-	-	-		
硝酸性窒素(mg/L)	1.2	0.50	0.84	0.85	0.8	○	
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
水素イオン濃度(pH)	8.0	8.3	7.9	7.9	8.0	○	生活環境項目
生物化学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	1.0	1.6	1.2	2.1	1.5(1.6)	○	
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	3.4	5.2	3.2	3.6	3.9		
浮遊物質(SS)(mg/L)	2	8	2	3	4	○	
溶存酸素量(DO)(mg/L)	9.4	8.6	8.3	9.7	9.0	○	
大腸菌群数(MPN/100mL)	17000	49000	49000	28000	36000		
全窒素(mg/L)	1.7	1.1	1.2	1.3	1.3		
全リン(mg/L)	0.22	0.26	0.22	0.23	0.23		
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		
アンモニア性窒素(mg/L)	0.08	0.14	0.09	0.07	0.10		
陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03	<0.03	0.05	0.03	0.04		その他の項目
磷酸態リン(mg/L)	0.20	0.20	0.20	0.18	0.20		
塩化物イオン(mg/L)	16	14	14	14	15		
電気伝導率(mS/m)	30	32	32	33	32		

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値未満は定量下限値として算出した。

平成30年度河川水質調査結果表

砂押川

(調査地点：日通(株)大船営業所脇)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	H30.5.16	H30.7.18	H30.10.17	H31.1.16	-		
採水時間	9:20	9:30	9:10	9:15	-		
気温(°C)	24.8	32.7	21.0	10.6	22.3		観測項目
水温(°C)	-	28.9	18.8	9.7	19.1		
外観	-	-	-	-	-		
透視度(cm)	30+	30+	30+	30+	30+		
臭気	-	-	-	-	-		
硝酸性窒素(mg/L)	0.95	0.08	0.64	0.67	0.59	○	
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	0.05		
水素イオン濃度(pH)	8.5	8.5	8.3	8.2	8.4	○	生活環境項目
生物学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	1.3	2.5	1.9	3.6	2.3(2.5)	○	
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	4.3	6.4	4.2	7.7	5.7		
浮遊物質(SS)(mg/L)	4	6	2	8	5	○	
溶存酸素量(DO)(mg/L)	11.2	6.5	9.2	9.7	9.2	○	
大腸菌群数(MPN/100mL)	490000	130000	790000	170000	400000		
全窒素(mg/L)	2.4	1.1	1.1	2.0	1.7		
全リン(mg/L)	0.13	0.16	0.13	0.14	0.14		
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	<0.5	0.5	0.5	<0.5	0.5		
アンモニア性窒素(mg/L)	0.06	0.21	0.06	0.16	0.12		
陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03	0.03	<0.03	0.08	0.04		その他の項目
磷酸態リン(mg/L)	0.081	0.073	0.095	0.053	0.076		
塩化物イオン(mg/L)	16	14	12	18	15		
電気伝導率(mS/m)	46	53	53	63	54		

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値未満は定量下限値として算出した。

平成30年度河川水質調査結果表

玉縄雨水幹線

(調査地点：フラワーセンター脇)

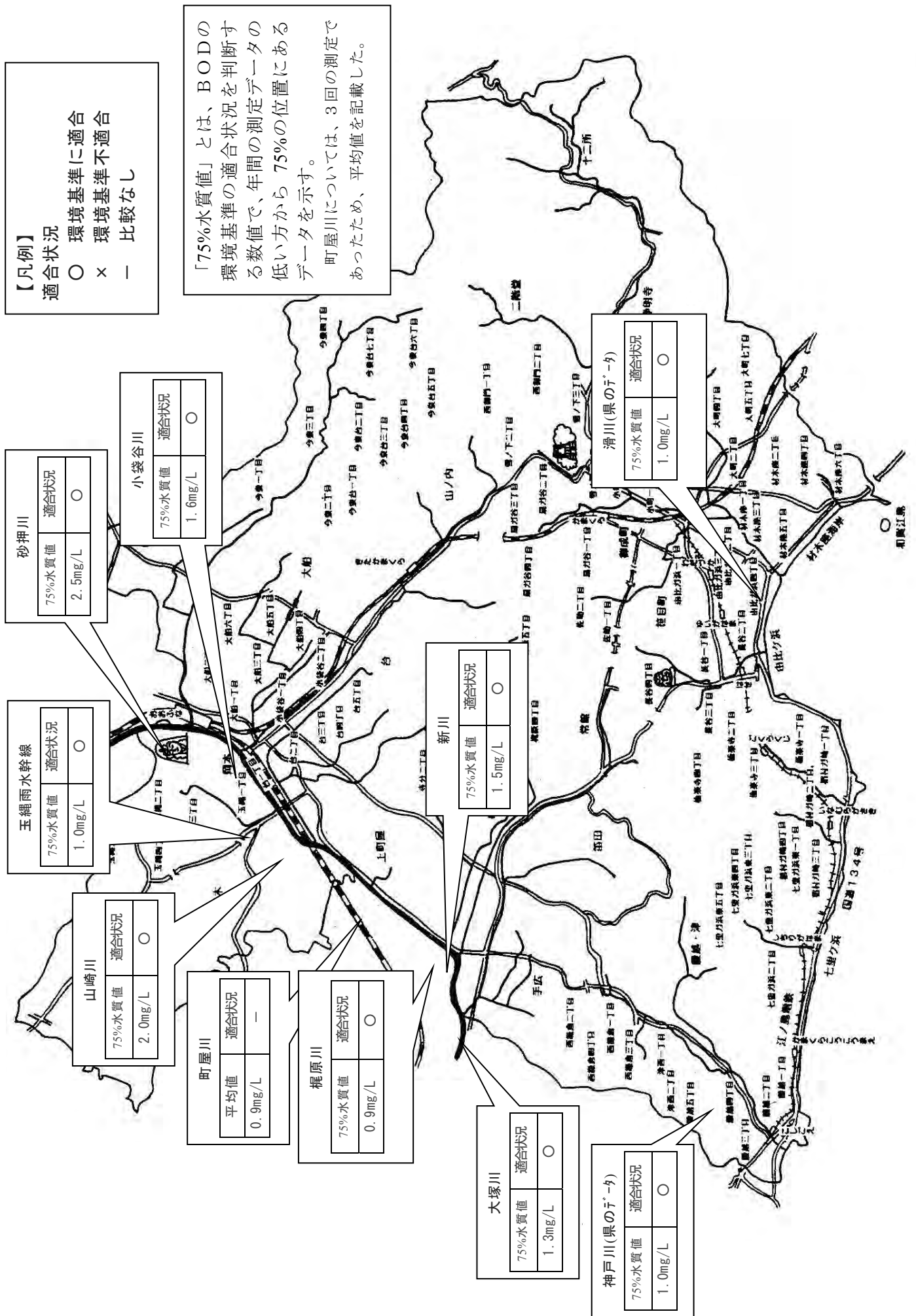
環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	H30.5.16	H30.7.18	H30.10.17	H31.1.16	-		
採水時間	9:55	10:05	9:45	9:57	-		
気温(°C)	24.7	35.5	23.2	12.2	23.9		観測項目
水温(°C)	19.5	27.1	22.1	13.7	20.6		
外観	-	-	-	-	-		
透視度(cm)	30+	30+	30+	30+	30+		
臭気	-	-	-	-	-		
硝酸性窒素(mg/L)	1.2	1.2	1.0	1.3	1.2	○	
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	0.05		
水素イオン濃度(pH)	8.0	8.2	8.3	8.1	8.2	○	生活環境項目
生物学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	0.8	0.5	1.0	1.0	0.8(1.0)	○	
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	3.5	5.5	4.7	4.2	4.5		
浮遊物質(SS)(mg/L)	<1	1	1	1	1	○	
溶存酸素量(DO)(mg/L)	8.7	8.2	9.2	10.1	9.1	○	
大腸菌群数(MPN/100mL)	7900	28000	7900	790	11000		
全窒素(mg/L)	1.9	1.7	1.4	1.7	1.7		
全リン(mg/L)	0.27	0.51	0.40	0.48	0.42		
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		
アンモニア性窒素(mg/L)	0.08	<0.04	0.04	<0.04	0.05		
陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03	<0.03	0.04	<0.03	0.03		
磷酸態リン(mg/L)	0.24	0.48	0.37	0.45	0.39		
塩化物イオン(mg/L)	14	12	12	12	13		
電気伝導率(mS/m)	36	40	41	41	40		

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値未満は定量下限値として算出した。

# 平成 30 年度 河川水質調査地点図 (BOD)



## (3) 神奈川県による水質測定結果 (年間平均値)

## ア 河川 (滑川・神戸川)

項 目	河 川 名		項 目	河 川 名	
	滑川 (滑川橋)	神戸川 (神戸橋)		滑川 (滑川橋)	神戸川 (神戸橋)
気温(°C)	18.0	18.4	1,3-ジクロロプロペン(mg/L)	<0.0004	<0.0004
水温(°C)	18.0	18.0	チウラム(mg/L)	<0.0006	<0.0006
透視度(cm)	87.0	95.6	シマジン(mg/L)	<0.0003	<0.0003
流量(m <sup>3</sup> /s)	0.09	0.06	チオベンカルブ(mg/L)	<0.002	<0.002
水素イオン濃度(pH)	8.2	8.3	ベンゼン(mg/L)	<0.0002	<0.0002
生物化学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	0.9	0.9	セレン(mg/L)	<0.002	<0.002
生物化学的酸素要求量(BOD)(75%値)(mg/L)	1.0	1.0	フェノール類(mg/L)	<0.005	<0.005
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	4.0	4.0	銅(mg/L)	<0.01	<0.01
化学的酸素要求量(COD)(75%値)(mg/L)	4.3	4.3	全亜鉛(mg/L)	0.009	0.005
浮遊物質(SS)(mg/L)	3	3	ノニルフェノール(mg/L)	<0.00006	<0.00006
溶存酸素量(DO)(mg/L)	9.1	10.3	※LAS(mg/L)	0.0042	0.010
大腸菌群数(MPN/100ml)	1.4E+04	1.9E+0.4	溶解性鉄(mg/L)	<0.02	0.03
n-ヘキササン抽出物質(mg/L)	<0.5	<0.5	溶解性マンガン(mg/L)	0.01	0.02
カドミウム(mg/L)	<0.0003	<0.0003	有機燐化合物(EPN)(mg/L)	<0.0006	<0.0006
全シアン(mg/L)	<0.1	<0.1	総クロム(mg/L)	<0.02	<0.02
鉛(mg/L)	<0.005	<0.005	ふっ素(mg/L)	---	0.21
六価クロム(mg/L)	<0.02	<0.02	ほう素(mg/L)	---	0.36
砒素(mg/L)	<0.005	<0.005	1,4-ジオキサン(mg/L)	<0.005	<0.005
総水銀(mg/L)	<0.0005	<0.0005	ニッケル(mg/L)	<0.008	<0.008
アルキル水銀(mg/L)	---	---	全燐(mg/L)	0.30	0.13
ポリ塩化ビフェニル(PCB)(mg/L)	<0.0005	<0.0005	燐酸態燐(mg/L)	0.28	0.12
ジクロロメタン(mg/L)	<0.0002	<0.0002	全窒素(mg/L)	1.3	1.3
四塩化炭素(mg/L)	<0.0002	<0.0002	アンモニア性窒素(mg/L)	0.06	0.06
1,2-ジクロロエタン(mg/L)	<0.0002	<0.0002	亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	<0.05
1,1-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.0002	<0.0002	硝酸性窒素(mg/L)	0.91	0.94
シス-1,2-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.0002	<0.0002	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(mg/L)	0.94	0.97
1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0002	<0.0002	塩化物イオン(mg/L)	1100	760
1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0002	<0.0002	陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03	<0.03
トリクロロエチレン(mg/L)	<0.0002	<0.0002	電気伝導率(mS/m)	370	190
テトラクロロエチレン(mg/L)	<0.0002	<0.0002			

※LAS 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩



イ 海域（由比ヶ浜沖・七里ヶ浜沖）

(7) 全層

項目	海 域 名		項目	海 域 名	
	由比ヶ浜沖	七里ヶ浜沖		由比ヶ浜沖	七里ヶ浜沖
	(全層)	(全層)		(全層)	(全層)
気温(°C)	18.3	17.3	1,3-ジクロロプロペン(mg/L)	<0.0004	---
水温(°C)	20.0	20.4	チウラム(mg/L)	<0.0006	---
透明度(m)	10.2	10.1	シマジン(mg/L)	<0.0003	---
水素イオン濃度(pH)	8.2	8.2	チオベンカルブ(mg/L)	<0.002	---
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	1.5	1.5	ベンゼン(mg/L)	<0.0002	---
化学的酸素要求量(COD)(75%値)(mg/L)	1.5	1.3	セレン(mg/L)	<0.002	---
溶存酸素量(DO)(mg/L)	7.9	7.8	ふっ素(mg/L)	---	---
大腸菌群数(MPN/100ml)	7.0E+00	---	ほう素(mg/L)	---	---
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	<0.5	---	1,4-ジオキサン(mg/L)	<0.005	---
カドミウム(mg/L)	<0.0003	---	フェノール類(mg/L)	<0.005	---
全シアン(mg/L)	<0.1	---	銅(mg/L)	<0.01	---
鉛(mg/L)	<0.005	---	全亜鉛(mg/L)	<0.001	---
六価クロム(mg/L)	<0.02	---	ノニルフェノール(mg/L)	<0.00006	---
砒素(mg/L)	<0.005	---	※LAS(mg/L)	<0.0006	---
総水銀(mg/L)	<0.0005	---	溶解性鉄(mg/L)	<0.02	---
アルキル水銀(mg/L)	---	---	溶解性マンガン(mg/L)	<0.01	---
ポリ塩化ビフェニル(PCB)(mg/L)	<0.0005	---	有機リン化合物(EPN)(mg/L)	<0.0006	---
ジクロロメタン(mg/L)	<0.0002	---	ニッケル(mg/L)	<0.008	---
四塩化炭素(mg/L)	<0.0002	---	全燐(mg/L)	0.016	0.015
1,2-ジクロロエタン(mg/L)	<0.0002	---	燐酸態燐(mg/L)	0.007	---
1,1-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.0002	---	全窒素(mg/L)	0.12	0.10
シス-1,2-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.0002	---	アンモニア性窒素(mg/L)	<0.04	---
1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0002	---	亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	---
1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0002	---	硝酸性窒素(mg/L)	0.05	---
トリクロロエチレン(mg/L)	<0.0002	---	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(mg/L)	0.10	---
テトラクロロエチレン(mg/L)	<0.0002	---	塩分	33.95	---

※LAS 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩

## (イ) 上層

項 目	海 域 名	
	由比ヶ浜沖	七里ヶ浜沖
	(上層)	(上層)
水温(°C)	20.4	20.7
水素イオン濃度(pH)	8.2	8.2
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	1.6	1.6
溶存酸素量(DO)(mg/L)	8.0	7.9
大腸菌群数(MPN/100ml)	7.0E+00	---
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	<0.5	---
全窒素(mg/L)	0.12	0.10
全磷(mg/L)	0.015	0.014
全亜鉛(mg/L)	<0.001	---
ノニルフェノール(mg/L)	<0.00006	---
LAS(mg/L)	<0.0006	---
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	---
硝酸性窒素(mg/L)	0.05	---
アンモニア性窒素(mg/L)	<0.04	---
磷酸態磷(mg/L)	0.006	---
塩分濃度(‰)	33.80	33.88
陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03	---
クロロフィルa(μg/L)	1.3	---

## (ウ) 下層

項 目	海 域 名	
	由比ヶ浜沖	七里ヶ浜沖
	(下層)	(下層)
水温(°C)	19.7	20.0
水素イオン濃度(pH)	8.2	8.2
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	1.3	1.4
溶存酸素量(DO)(mg/L)	7.7	7.7
全窒素(mg/L)	0.11	0.10
全磷(mg/L)	0.016	0.014
全亜鉛(mg/L)	<0.001	---
ノニルフェノール(mg/L)	<0.00006	---
LAS(mg/L)	<0.0006	---
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	---
硝酸性窒素(mg/L)	0.05	---
アンモニア性窒素(mg/L)	<0.04	---
磷酸態磷(mg/L)	0.008	---
塩分濃度(‰)	34.11	34.03